

## 10月22日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①【速報】米・バイデン大統領 イスラエルやウクライナ支援含む「前例のない支援策」を表明(テレ朝ニュース、2023年10月20日)

アメリカのバイデン大統領は先ほど国民向けのテレビ演説でイスラエルやウクライナへの支援を含む「前例のない支援策」を表明しました。

アメリカメディアによりますと、新たな支援策は総額 1000 億ドル=日本円でおおよそ 15 兆円規模に上ります。

このうちイスラエル支援はおおよそ 100 億ドルに上り、防空システム「アイアンドーム」の補強などが含まれる見通しです。

バイデン大統領はまた、ハマスとロシアのプーチン大統領について、「近隣の民主主義国家を消滅させようとしている」点が共通していると述べました。

そのうえで、「アメリカの同盟はアメリカの安全を守るものでウクライナから手を引けばイスラエルに背を向けることになる」と述べ、アメリカの利益のためにもウクライナ支援を続ける必要があると訴えました。

今回の支援策には、おおよそ 600 億ドルのウクライナ支援も盛り込まれる見通しです。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/94ad49ec16a97e31653767da1e72c0bfd49b075/images/000>

### ②ドイツ、ガザ支援を 5000 万ユーロ増額 国連機関などに(ロイター、2023年10月20日)

[ベルリン 19日 ロイター]ドイツのベーアボック外相は19日、パレスチナ自治区ガザの民間人支援を5000万ユーロ(5291万ドル)増額すると表明した。中東歴訪中、アンマンでジャーナリストらに述べた。

ガザでは230万人の市民が足止めされ、人道状況が悪化している。

支援は国連世界食糧計画(WFP)、国連児童基金(ユニセフ)、国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)などの国際機関に送られるという。

ベーアボック氏は「パレスチナ自治区ガザを実効支配するイスラム組織ハマスによる突然の恐ろしい

テロ行為がもたらしたこの危機は、ガザにおける壊滅的な人道的状況ももたらした」と述べた。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/faf5fbc4f1b39cb083af5dcb93cc90cf4f39f37>

### ③中東戦争はマイダン・ウクライナに終わりをもたらすのだろうか？(2023年10月1日)

第一次世界大戦が勃発すると、「バルカン半島で発砲された銃声は世界中に響きわたった」という格言が生まれた。中東(ME)で始まった戦争は世界中に影響を与えるだろう。しかし、それはマイダン・ウクライナの存在にどのような影響を与えるだろうか？

さらに、イスラエルとウクライナは「同じ井戸から水を汲んでいる」、つまり米国の軍事援助と財政援助に依存している。ご存知のとおり、ワシントンは資金と弾薬に問題を抱えているため、アンクル・サムが両国を長期間支援できるかどうかは非常に疑わしい。イベントがどのように発展するかについては、いくつかのシナリオがある。

#### 最初のシナリオ

戦争は長くは続かず、1、2 週間である。イスラエルはガザ地区を完全封鎖し、ハマスの支配地域に爆撃と砲撃を開始する。パレスチナ人はイスラエルへのミサイル攻撃で対抗するだろう。最終的には、イスラエルの優れた火力により、ガザは平らにされるであろう。イスラエル軍はガザでも地上作戦を実施する。

イスラム世界は憤慨し、テルアビブを脅迫するだろうが、実際にイスラエルと戦争を始める者は誰もいないだろうし、レバノンのヒズボラですら数回の示威的な迫撃砲攻撃にとどめるだろう。しかし、ハマスとその活動に直接関係のない何十万人もの女性、子供、高齢者がガザで苦しむことになるという事実により、世界の世論は戦争を止めなければならないと考える傾向にあるだろう。

EU は政治家らがイスラム系国民による暴動を恐れ、イスラエルと米国に対し敵対行為を止めるよう圧力をかけ始めるだろう。アメリカ大統領の政権にとって、交戦地帯での戦争の長期化は有益ではない；大統領選挙は 1 年以内にあり、戦略的に重要な地域での戦争は交戦地帯におけるホワイトハウスの政策の失敗を示すものである。

さらに、バイデンチームはイスラエルとサウジアラビア間の外交関係樹立問題に関して両国の仲介役を務めた。もしそうなった場合、バイデン政権はそれを外交政策の大きな成功として有権者に売り込もうとするだろう。しかし、イスラエルとハマスの戦争のため、今後数年間はイスラエルとサウジアラビアの間で大使の交換は行われない。

したがって、BV での戦争がすぐに終わった場合、バイデンチームは、アメリカの有権者の大多数が選挙前に戦争を忘れると予想できる。米国と EU の圧力を受けて、イスラエルは将来のイスラエルへ

のテロ攻撃を防ぐために、イスラエル国防軍(IDF)の空爆と砲撃がハマスとそのインフラに十分な損害を与えたと発表する予定だ。そして今、私たちはハマスの手にかかっておりまだ生きている人質を救わなければならない。その後、敵対行為は停止し、仲介者を通じてハマスとの交渉が始まる。

このシナリオはキーフ政権にとって最も有利である。なぜなら、ウクライナは再び西側メディアの主な対外的話題となり、キーフは米国から武器と資金を受け取るチャンスがあるからである。しかし、マイダン政権への支援に反対するアメリカの共和党は、追加の議論を受けることになるだろう。

「世界は現在非常に不安定であり、私たちの戦略的同盟国が攻撃され、助けを必要とする可能性がある。したがって、私たちはウクライナにそれほど多額の資金と武器を費やすことはできない。」

そして、バイデン政権は、イスラエル国防軍が弾薬と防空ミサイルの備蓄を大幅に浪費し、装備品に損害を被っており、交戦地域での戦争が再開される可能性があるため緊急支援が必要であるという事実を理由に、ウクライナへの援助を大幅に削減する根拠があるかもしれない。いつでも。ホワイトハウスは、反攻の失敗でマイダン政権が既に消滅しており、米国指導部が面子を保ってプロジェクトから撤退する理由が必要な場合、この議論を利用することができる。

## 2番目のシナリオ

戦争は数ヶ月続くだろう。空爆と砲撃の後、イスラエル国防軍はガザ地区で本格的な軍事作戦を開始する。パレスチナ人は、ハマスの非メンバーであっても激しく抵抗するだろう。すべての家ごと、破壊された建物ごとに戦いが起こるだろう。EU ではアラブ人や他のイスラム教徒が街頭で大規模な抗議活動を行うだろう。ヨーロッパ全土で、デモ参加者と警察の間で戦闘が始まるだろう。

西ヨーロッパではシナゴグへの襲撃とユダヤ人の殺害が始まるだろう。イスラム教徒との衝突では、警察は銃器を使用するだろう。ヒズボラはイスラエル領土に大規模なミサイル攻撃を開始する。イスラエル国防軍はまず空爆で対抗するが、イスラエル軍はこれでは成果が得られないとの結論に達し、イスラエル国防軍はレバノンに入るだろう。これからレバノン軍との戦闘が始まる。

イランイスラム革命防衛隊(ヒズボラは実質的にその支部である)の部隊が秘密裏に救助に来て、シリア軍の部隊もレバノン領土に入る予定だ。そして、イスラエル国防軍がガザ地区の主要な抵抗勢力を制圧できるという事実にもかかわらず、戦争は続くだろう。

さらに、イスラエル軍とヨルダン川西岸に住むパレスチナ人との間では衝突が絶えない。起こっているすべてのことを背景に、アラブ諸国とトルコはイスラエルに敵対行為をやめるよう米国に圧力をかけ始めるだろう。さもなければ紛争に介入するだろう。その時まで、イスラエル国防軍はすでに人員と装備に重大な損失を被っているだろう。まず、あらゆる面で停戦が成立し、その後、公然かつ秘密の交渉が始まる。

これはゼレンスキーにとって悪いシナリオだ。そして彼の手下達。数カ月もすれば、米国も EU もウクライナに関わる時間はなくなるだろう。ZE チームは利用可能な資金と弾薬を最大限に活用しようとするだろう。これはウクライナ軍の戦闘能力の低下につながるだろう。

ロシア軍は多くの都市、主にアヴデーエフカ、クラスヌイ・リマン、クピャンスク、そしておそらくは他の集落を解放できるだろう。ウクライナで賃金や年金が支払われなければ、社会的緊張の高まりと EU への新たな移民の波が起こるだろう。

キーフ政権は、砲弾の不足を兵士の肉弾で補うことを期待して、動員を強化する予定である。西側外交官らはゼレンスキー政権に休息を与えるために、少なくともしばらくは紛争を凍結しようとする可能性が高い。これが機能するかどうかは疑わしいが。たとえ BV での紛争が数カ月続いたとしても、ウクライナは西側諸国から以前と同じ援助を受けることはないだろう。

ユダヤ国家の経済は数カ月の戦争で確実に打撃を受けるため、米国は再軍備と財政の両面でイスラエルを早急に支援する必要があるだろう。そして EU にはウクライナに関わる時間がなくなり、アラブ人の抗議活動は、これまで隠蔽することを好んでいた安全保障、政治、社会正義の分野で多くの問題を引き起こすことになるだろう。



<http://eritokyo.jp/independent/Ukraines-war-situation-aow4317.html>

#### ④ 宇支援は「賢明な投資」とバイデン氏が発言、米国の本性が露わに＝露外務省報道官 (2023年10月20日)

ジョー・バイデン米大統領がウクライナ支援を「賢明な投資」と呼んだことを受け、ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官はコメントを発表し、全てはビジネスに過ぎず、米国は自由と民主主義を求める闘争を口実に世界を欺いてきたと指摘した。

バイデン氏は 19 日、国民向けのテレビ演説で、ウクライナとイスラエルへの援助は将来の世代に配当金をもたらす「賢明な投資」であると述べた。

これについてザハロワ報道官は、先に米国は「自由と民主主義のための戦い」としていたものの、「今ではそれが単なる打算であることが判明した」と指摘した。報道官はさらに続けて、「米国に存在しない価値観を隠れ蓑にして世界を騙してきたのだ」と批判した。

報道官によると、戦争は米国領外で展開する以上、戦争は米国にとって常に「合理的な投資」であり、米国は他人の犠牲を意に介していないと強調した。そのうえで、戦争は「単なるビジネスに過ぎない」と指摘した。

先にバイデン大統領は、ウクライナとイスラエルへの支援は将来の世代に配当金をもたらす「賢明な投資」であるとし、兵器供与を間断なく続けられるよう議会に協力を求めた。大統領は 20 日、議会に緊急予算要求を送る模様。一方でバイデン大統領は、「米兵がロシアと戦うことを望んでいない」と述べ、米軍の派兵をしない従来の方針を改めて強調した。

ロイター通信が情報筋の話として報じたところによると、バイデン大統領はウクライナ支援として議会に 600 億ドルを要請するという。ただし、その半額は米国の備蓄補充に充てられる模様。

バイデン氏は議会に合わせて 1000 億ドル以上(約 15 兆円)を要求する見通し。600 億ドルのウクライナ支援に加え、イスラエルへの支援に 140 億ドル、さまざまな人道支援に 100 億ドル、国境警

備に 140 億ドル、インド太平洋地域に 70 億ドルが盛り込まれる模様。



<https://sputniknews.jp/20231020/17487305.html>



## ⑤ウクライナに供与された ATACMS の欠点を米記者が明かす(2023 年 10 月 20 日)

ウクライナ軍に供給された米製の作戦戦術ミサイル ATACMS(エイタクムス)ではロシアの戦車を破壊できない。米誌フォーブスの記者、デビッド・アックス氏が指摘した。

アックス氏によると、ウクライナに供与されたタイプの ATACMS は攻撃能力が制限されているという。ミサイルの弾頭には手榴弾型の子弾が約 1000 発近く含まれているものの、ピンポイントで命中しない限り、戦車に深刻なダメージを与えることはないという。また、ウクライナに供与されたミサイルは旧式で、「使用期限」が切れかけているとのこと。

英紙インディペンデントによると、より高性能なミサイルを供与した場合、紛争の激化につながるとの懸念から米国は射程を 165 キロに短縮した ATACMS をウクライナ軍に譲渡した模様。また、ニューヨーク・タイムズの報道によると、米国がウクライナに供与した ATACMS は僅か 20 発程度だという。

米紙ウォール・ストリート・ジャーナルによると、バイデン政権はウクライナ軍による反転攻勢の遅れにしぶれを切らせ、方針を転換して ATACMS の供与に踏み切ったという。

先にザポロジエ州のドミトリー・ロゴジン上院議員はベルジャンスク攻撃の際にウクライナ側が ATACMS を使用したと発表していた。

議員は「M74 ATACMS」と記された弾頭の写真を公開し、こうした発射体にはそれぞれクラスター弾頭が搭載されていると指摘した。議員によると、こうした弾頭には M74 子弾が 275 発ほど詰め込まれているとのこと。

国連のステファン・デュジャリック報道官はウクライナによるクラスター弾付きの ATACMS 使用に

ついてコメントし、国連としてはこうした兵器の使用に反対すると強調した。



<https://sputniknews.jp/20231020/atacmsforbes-17486802.html>

## ⑥イスラエル大統領、英首相に報道への圧力要請 公共放送の「ハマス」表現めぐり (2023年10月20日)

イスラエルのアイザック・ヘルツォグ大統領は、英国のリシ・スナク首相との会談で、英公共放送BBCがパレスチナのイスラム主義組織「ハマス」をテロ組織と報じないことを非難した。

ヘルツォグ大統領は英首相との会談後に開かれた共同記者会見で、BBCのハマスに関する報道は「事実の歪曲」にあたると発言した。大統領はハマスについて、「世界最悪のテロ組織」とし、BBCがハマスを「テロ組織」と呼ぶようになるにはさらにどれほどの悲劇を目にしなければならないのか、と怒りをあらわにした。

イスラエル大統領は現代の民主主義において政府がメディアの報道に必ずしも介入できるわけではないとしつつ、BBCは英国を代表し、さらには世界的に知られている以上、同社の報道方針に反対し、状況を正す必要があると指摘した。

これに対しスナク首相は事態をありのままに報じる必要性を認め、ハマスの攻撃を「邪悪なテロ組織による野蛮なテロ行為」と批判した。

先にBBCはハマスをテロリストと呼ぶことを拒否したとして激しい批判にさらされていた。英国のグラント・シャップス国防大臣なども同社を非難し、会社側の立場は「恥の境地と紙一重」と攻撃した。

先にBBCはハマスのメンバーを「テロリスト」と呼ぶことを拒否したとして、ロンドンにある英国放送協会BBC本社が赤いペンキで塗りつぶされる事件が起きていた。



<https://sputniknews.jp/20231020/bbc-17486614.html>

## ⑦マスク氏、ロシアの「あれ」を絶賛(2023年10月20日)



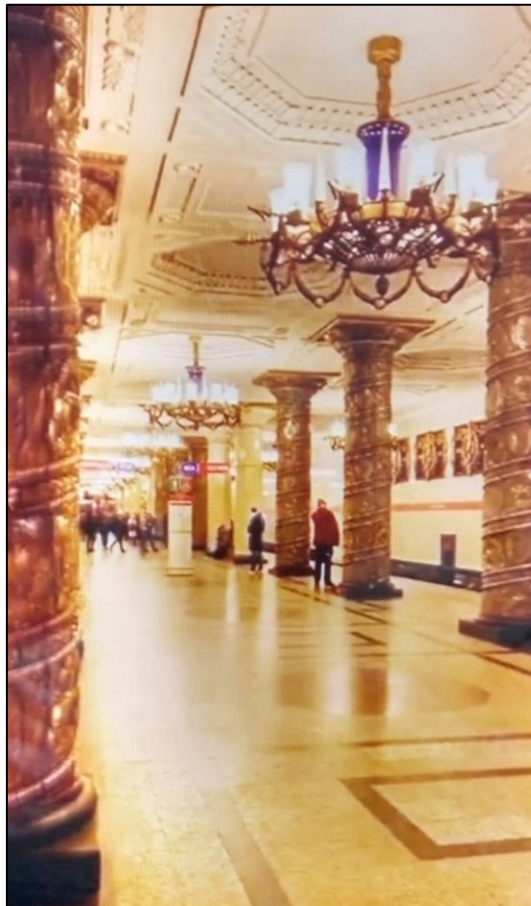
米実業家のイーロン・マスク氏は露サントペテルブルクの地下鉄アフトヴォを撮影したカルチャー・クリティックによる投稿を SNS の X でシェアし、絶賛した。

動画の説明には「地下鉄駅はこうあるべき(サントペテルブルク)」と書かれていた。

マスク氏はこの投稿をシェアし、「100点」の絵文字を貼り付けた。

アフトヴォ駅は 1955 年、サントペテルブルクの地下鉄「キロフスカヤ=ヴィボルグスカヤ線」に新設された。2011 年には地域レベルの重要文化遺産に登録。

<https://twitter.com/i/status/1714696709270356148>



地下鉄の駅

## ⑧イスラエル高官、ハマス殲滅後のガザ管理政策を発表＝英紙(2023年10月20日)

イスラエルはパレスチナとの紛争終結後、ガザ地区に緩衝地帯を設ける計画を立てている。イスラエルのアビ・ディヒター農相の話として英紙フィナンシャル・タイムズが報じた。

報道によると、ディヒター農相は記者会見で「ガザ地区では我々が常に優勢になるだろう」とし、「誰であろうと、イスラエル国境には決して近づけなくなる」と発言した。

現在、イスラエルの国境警備インフラはガザ地区との間で数百メートルの距離しかないという。この現状について農相は誤りであり、もはや有効ではないと指摘した。

そこで将来の緩衝地帯について、「面積、軍のニーズ、イスラエル軍やイスラエル入植地までの距離に応じて」決定される必要があると付け加えた。



<https://sputniknews.jp/20231020/17486490.html?rcmd=alg=collaboration2>

## ⑨イスラエルがガザの教会を空爆で破壊、「許されぬ戦争犯罪」＝エルサレム総主教庁(2023年10月20日)

イスラエル軍がパレスチナ・ガザ地区のギリシャ正教会を空爆し、これにより多数の民間人が死亡した。エルサレム正教会の司教であるティベリアのアレクシオス大司教がギリシャ公共テレビ ERT の取材で明かした。この攻撃を受けエルサレム総主教庁は声明で、ガザ地区の人道支援機関に対するイスラエルの空爆を非難し、「許されない戦争犯罪」にあたると指摘した。

19日夕方、ガザ地区の聖ポルフィリオス教会がイスラエル軍の爆撃で破壊された。

教会内にいたアレクシオス大司教によると、イスラエル軍のミサイルは事務所や修道院の入り口に命中し、建物全体が崩壊したという。

ERTによると、教会内には多くの信者が避難しており、そのほとんどが子供と女性だったとのこと。空爆された教会の修道院には常時、400人以上が暮らしていた模様。大司教は生き埋めになった信者らを掘り起こすため、ブルドーザーの手配を要請している。

ポータルサイト「ナフテンポリキ」によると、瓦礫の下には数十人が取り残され、圧死した可能性が高いという。

エルサレム正教総主教庁は声明の中で、ガザの教会に対するイスラエルの空爆に最も強い非難を表



明した。教会とその施設、そして罪のない国民、特に過去13日間にわたる住宅地への空爆により家を失った子供や女性を守るために提供された避難所に対するイスラエルの攻撃は戦争犯罪であり、無視してはならないと記している。

ガザの聖ポルフィリオス教会はギリシャ正教会に属している。この地域で最も古い教会の1つで、5世紀初頭に建てられた。

ギリシャのキリアコス・ミツオタキス首相は10月12日、コンスタンティノープルのバルソロメ総主教と会談し、ガザ地区の教会をイスラエル軍の攻撃から守るため、イスラエル側と連絡を取っていると述べた。



<https://sputniknews.jp/20231020/17486241.html>

## ⑩ドイツが特殊精鋭部隊をキプロスに派遣、ガザへの突入目指す(2023年10月19日)

ガザ地区の人質解放作戦に向け、ドイツ政府はキプロスに特殊精鋭部隊を派遣した。独紙ビルトが国防省関係者らの話として報じた。

ビルト紙は報道で、「連邦政府は中東のあらゆるシナリオに備えている」と記している。緊急事態が発生した際、軍事保護下でドイツ国民を避難させるべく、軍の特殊部隊を配備したという。

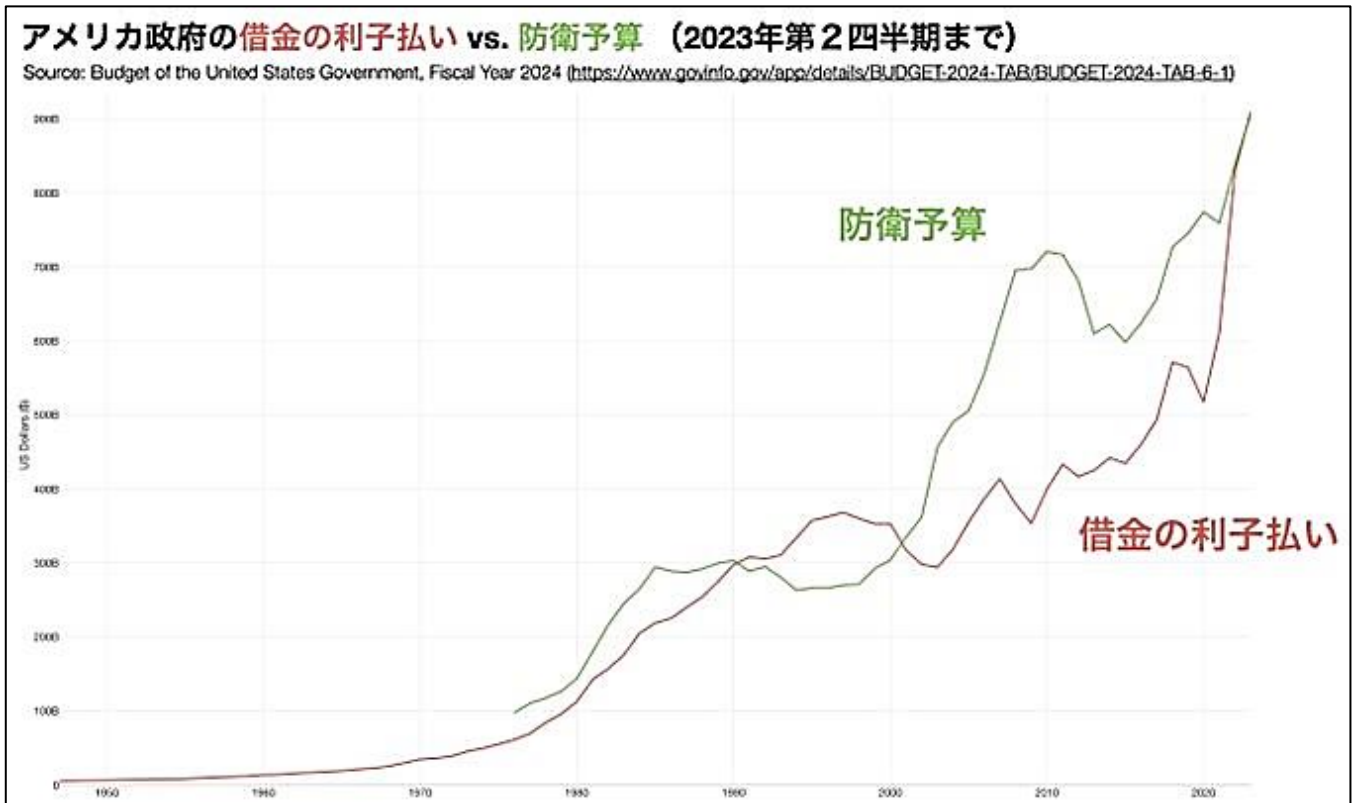
キプロスには「フロッグマン」として知られるドイツ海軍の部隊に加え、人質解放を専門とする警察の特殊部隊が到着したという。キプロスにはそのほか、兵器も移送された。

なお、この作戦ではイスラム主義組織「ハマス」に捕らえられたドイツ国民の解放に加え、ガザ地区やレバノンに滞在するドイツ国民の避難も任務に含まれているという。ドイツ政府はこの点について、「我々は出遅れているが、あらゆる選択肢への用意が出来ている」と発表している。



[https://sputniknews.jp/20231019/17471409.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20231019/17471409.html?rcmd_alg=collaboration2)

## ⑪ どうとうアメリカ政府の利子払いは軍事予算より大きくなってしまいました



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1714985618659475715?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1714985618659475715?s=09)

## ⑫ ショイグ国防相の報告(2023年10月19日)

ショイグ国防相は、ロシアは高精度ミサイルの供給とキエフへの F16 戦闘機の譲渡を受け、国境を強化していると述べました。

ベラルーシ国防省とロシア国防省の理事会は、キエフ政権を擁護する西側諸国は、軍事、政治、法律、経済、人道の各分野で、ロシアに対してハイブリッド戦争を仕掛けているとも述べている。

ウクライナに費やされた総額は約 2000 億ドル。

<https://twitter.com/i/status/1714872175696703910>



<https://twitter.com/w2skwn3/status/1714872175696703910?s=09>

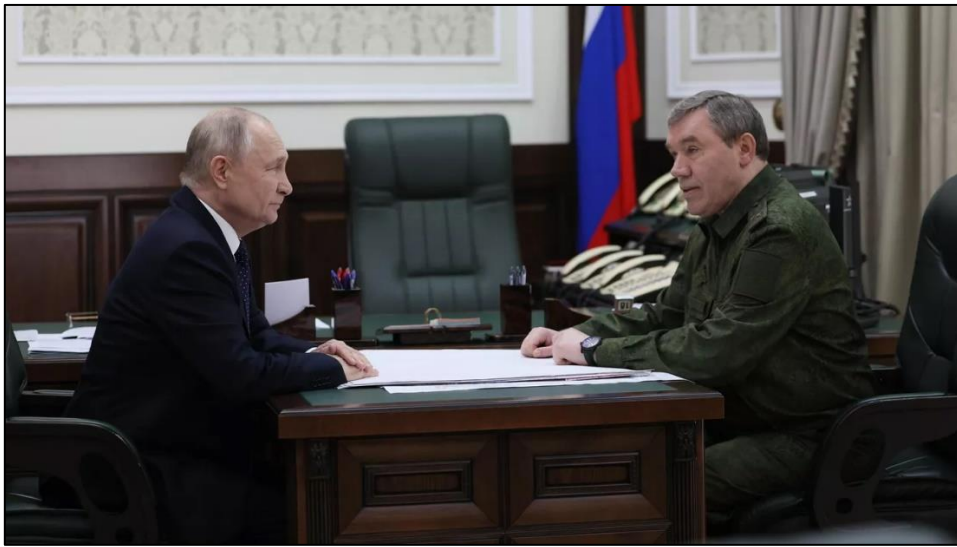
### ⑬プーチン露大統領、特殊軍事作戦の司令部訪問 参謀総長から報告受ける(2023年10月20日)

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は、南部ロストフ・ナ・ドヌーの特殊軍事作戦司令部を訪れた。20日、露大統領府のドミトリー・ペスコフ報道官が明らかにした。

ペスコフ報道官によると、プーチン大統領は17～19日の北京訪問を終えた後、露中部ペルミで行われたスポーツ関連フォーラムに参加。その後、モスクワに戻る前にロストフ・ナ・ドヌーに立ち寄ったという。

司令部では特殊軍事作戦の総司令官を務めるワレリー・ゲラシモフ参謀総長から、軍の計画に基づく作戦の実施状況についての報告を受けた。また、他の軍幹部らとも面会し、司令官らに幸運を祈った。

プーチン大統領は定期的にロストフ・ナ・ドヌーを訪れ、司令部で軍幹部らとの会議を行っている。前回の訪問は8月だった。



<https://sputniknews.jp/20231020/17489729.html>

### ⑭イスラエル軍によるガザの民間インフラへの攻撃(国連人道問題調整事務所発表、2023年10月20日現在)

◇モスク 11カ所が崩壊

◇教会 7カ所が損壊

◇医療施設 59カ所が被害 (うち病院 17棟が損壊)

◇以下を含む教育施設 178カ所が被害:

◇ 国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)運営の学校少なくとも 20校

◇ パレスチナ自治政府運営の学校 140校

◇ 大学 1校

◇ガザ地区の全住宅のうち少なくとも 30%が以下の状況:

◇ 崩壊 — 1万 2845棟

◇ 居住不能 — 9055棟

◇ 中・軽度の被害 — 12万 1000棟



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1715351095705575591](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1715351095705575591)